



2022年10月28日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 八 十 二 銀 行
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 松 下 正 樹
(コード番号 8359 東証プライム市場)
問 合 せ 先 企 画 部 長 木 村 岳 彦
(TEL. 026-227-1182)

グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド フレームワーク
の策定に関するお知らせ

株式会社八十二銀行（取締役頭取 松下正樹）（以下「当行」といいます。）は、長野県のリーディングバンクとして「地域社会の発展に貢献する」存在意義を果たし続けるため、グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンドフレームワーク（以下「本フレームワーク」といいます。）を策定しました。

なお、債券発行に関しては、市場環境等を勘案のうえ、別途決定する予定です。

【本フレームワーク策定の目的と背景】

当行は、金融仲介を中心とした営業からお客さまのニーズや社会的要請に対応した営業へと変革すべく、当行が目指す姿として「中期経営ビジョン 2021」を策定しました。

「中期経営ビジョン 2021」は、「金融×非金融×リレーション」でお客さまと地域を支援することを通じ、地域社会の発展を目指すための指針として、「経営の根幹としてのサステナビリティ」「ライフサポートビジネスの深化」「総合金融サービス・機能の提供」「業務・組織のデジタル改革」「成長とやりがいを支える人事改革」の5つのテーマで構成しております。


筆頭となるテーマ「経営の根幹としてのサステナビリティ」では、金融・非金融の両面から地域の社会的課題を解決していく姿を目指しています。銀行界には、社会構造・産業構造の転換を金融サービスから後押しする役割を期待されています。その期待に応えるべく、当行は金融サービスの高度化・非金融サービスの充実を通じて、お客さまとの関係を強化し、地域にとって真に必要とされる銀行グループを目指していきます。





当行は、本フレームワークに則って発行するグリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンドにより調達した資金を活用し、地域課題の解決に向けて主体的に取り組みます。

<グリーンプロジェクトの適格クライテリア>

| プロジェクト カテゴリ | GBP カテゴリ | 適格クライテリア | SDGs |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| 再生可能 エネルギー | 再生可能 エネルギー | <p>下記の発電向け設備投資（土地の賃貸・購入、施設建設、設備の購入・設置、運営、保守・管理、施設拡張を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 太陽光発電 ✓ 風力発電 ✓ 地熱発電 ✓ 小水力発電（発電容量 25MW 以下） ✓ バイオマス発電（持続可能な原料または廃棄物のみ） <p>当行グループの事業活動で使用する CO₂フリー電力購入</p> |   |
| グリーン ビルディング エネルギー 効率 | グリーン ビルディング エネルギー 効率 | <p>下記の評価を得た（予定含む）建物の建設、購入または既存建物の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ LEED : SILVER 以上 ✓ BREEAM : very good 以上 ✓ CASBEE : B+以上 ✓ DBJ Green Building 認証 : 3つ星以上 ✓ BELS : 3つ星以上 ✓ ZEB/ZEH/ZEH-M (nearly, ready, oriented を含む) ✓ ZEH 相当の基準を満たす長期優良住宅、または断熱等性能等級 5 以上および一次エネルギー消費量等級 6 以上を満たす住宅 <p>ZEB 基準を満たす店舗など当行グループ関連の施設新設および既存施設の改修に必要な設備投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ZEB 認証には nearly, ready, oriented を含む |   |

<ソーシャルプロジェクトの適格クライテリア>

| プロジェクト カテゴリ | SBP カテゴリ | 適格クライテリア | SDGs |
|----------------|------------------|---|---|
| 医療・福祉 支援 | 必要不可欠なサービスへのアクセス | <p>（医療支援） 地域医療充実などに資する医療関連施設（製薬事業・医療機器製造事業含む）の設備投資</p> <p>【対象となる人々】 医療サービスを必要とする一般の人々</p> <p>（福祉支援） 高齢化社会対応・障がい者支援に資する福祉関連施設の設備投資</p> |  |

| | | | |
|--------|------------------|---|--|
| | | 【対象となる人々】 介護等の福祉サービスを必要とする高齢者・障がい者 | |
| 就学支援 | 必要不可欠なサービスへのアクセス | 教育カードローン 【対象となる人々】 高等教育進学を希望する人々のうち、経済的支援が必要な人々 |  |
| 子育て支援 | 社会経済的向上とエンパワーメント | 保育園および学童施設の設備投資 【対象となる人々】 子育てをしながら仕事等を両立させる保護者 |  |
| 中小企業支援 | 中小企業向け資金供給、雇用創出 | <ul style="list-style-type: none"> ● 長野県中小企業支援融資制度のもと実施する中小企業向け融資 ● 中小企業および個人事業主向け創業・開業資金融資 ● 事業承継、事業再生、新規事業創出に係る投融資 【対象となる人々】 地域の中小企業 |   |

除外クライテリア

石油・石炭・天然ガスを含めた化石燃料、兵器に関わるプロジェクトは対象から除外します。

なお、本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の定めるグリーンボンド原則（GBP）2021、ソーシャルボンド原則（SBP）2021、サステナビリティボンド・ガイドライン（SBG）2021、環境省の定めるグリーンボンドガイドライン 2022 年版、金融庁の定めるソーシャルボンドガイドライン 2021 年版に適合しており、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCR サステナビリティボンド・フレームワーク評価」の最上位評価である「SU 1 (F)」の評価を取得しています。また、本フレームワークの策定および第三者評価取得の助言等を通じて、グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンドの発行支援を行うストラクチャリング・エージェントとして、野村証券株式会社を選定しています。

<ご参考>

当行ホームページ：https://www.82bank.co.jp/about/sdgs_csr/greenbond.html

ご注意：この文書は、当行が上記グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンドフレームワークの策定に関して一般に公表するための発表文であり、投資勧誘やこれに類する行為を目的として作成されたものではありません。社債の発行については別途決定する予定です。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

企画部 中林・宮村

TEL 026-224-6340